

福井県中小企業産業大学校(1/2)

中小企業産業大学校は
あなたの会社の人材育成部です！！

所在地	福井市下六条町16-15		
設置年月日	昭和61年6月1日		
施設の種別	研修施設	施設管理主体	(財)ふくい産業支援センター
設置の目的	中小企業における人材の養成を行い、もって産業の振興および発展に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上3階、延3,262㎡ (大教室、会議室、中教室、演習室、宿泊室) 鉄筋コンクリート造、地上1階、延494㎡(体育館)		
職員数	団体職員7人		

利用状況等

	H15	H16	H17
延べ利用者数(人)	50,712	56,417	48,820
宿泊者数(人)	1,009	1,083	1,398
研修受講者数(人)	813	816	797

利用者負担(利用料金)等

施設利用料	大教室(全日)	31,550円
	中教室(全日)	15,510円
	演習室(全日)	7,900円



(大学校正面からの写真)



(大学校上空からの写真)

利用状況の推移	<p>昭和61年6月に福井県中小企業産業大学校が設置されてから、既に約63万人の企業関係者が本施設を利用してきました。</p> <p>施設利用者の年度推移については、平成15、16年度は宿泊者数はほぼ横ばいであるものの、平成17年度は約30%増加しました。また、延べ施設利用者数は、平成15年度から平成16年度にかけて11%増加したものの、平成17年度には48,820人となり、13%減少しました。原因としては、会議室の利用(研修以外の使用)が減少したためです。</p> <p>また、施設管理団体である財団法人福井県中小企業産業大学校(平成17年4月に、財団法人ふくい産業支援センターへ統合)が、中小企業の経営者および従業員の経営管理または技術に関する研修事業を年間40本前後実施しており、開校以来これまで1万5千人の受講者を輩出してきました。</p> <p>研修受講者の年度推移については、ほぼ横ばいであるものの、年間800人余の受講者を確保しており、確実に本県中小企業の人材育成に寄与しております。</p>
---------	---

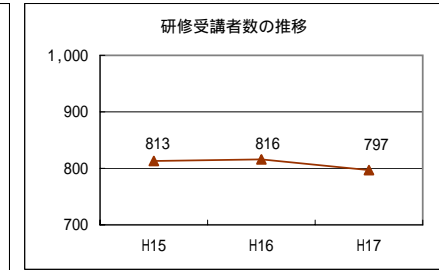
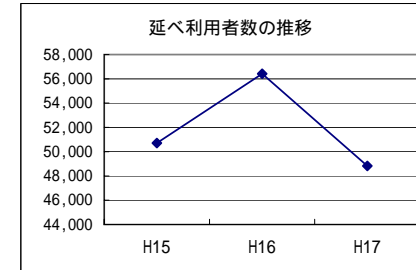
平成17年度の特徴について

事業実績	<p>県内の中小企業の人材養成のため、経営管理コース29講座、工業技術コース8講座の合計37講座を開講しました。このうち、敦賀、小浜、勝山において移動講座を3講座開講し、県内各地での受講機会の確保に努めました。</p> <p>公開講座「見える化」経営へのアプローチ、「今、福井の企業に求められるもの」2講座を開講し、施設利用および研修事業のPRに努めました。</p> <p>企業が自主的に行う各種研修に対し、施設・設備の提供、講師の紹介も含めた相談に応じるなど、企業内研修の支援を行い、施設の利用促進を図りました。</p> <p>年間の研修実施内容等を個別に記載した「パワーアップガイド」、それを一覧にした「年間研修ガイド」を各企業に送付するとともに、各研修についてもそれぞれ募集案内を送付しました。</p> <p>新聞、ラジオおよび各種団体の定期刊行物による広報活動を積極的に行ったほか、インターネットでの情報提供を充実し、施設や研修情報の提供、大学校に対する要望・意見の受付等を行いました。</p> <p>研修内容の充実を図るため、教材その他研修に関する資料の収集に努めるとともに、受講者等にアンケート調査を実施し、研修効果の調査を行いました。</p>
------	--

施設利用者・研修受講者の状況

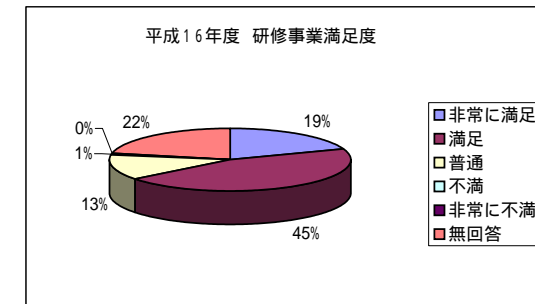
施設利用者数は、平成17年度は平成16年度と比較して13%減少しました。

研修受講者数は、平成15年度以降ほぼ横ばいであるものの、年間800人余の受講者を確保しております。



研修受講者アンケートの結果

平成16年度に実施した研修受講者のアンケート結果によりますと、研修内容に満足している方(「非常に満足」、「満足」の合計)は64%となっており、高い評価を受けております。



福井県中小企業産業大学校(2/2)

行政コスト計算書(平成17年度)

(単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
物にかかるコスト	物件費	64,972	78.4%	65.2%
	維持補修費	0	0.0%	-
	減価償却費	17,924	21.6%	100.0%
	計	82,896	100.0%	70.0%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	-
	その他	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
合計		82,896	100.0%	70.0%

バランスシート(平成18年3月31日現在)

(単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	482,328	96%	固定負債	0	-
投資等	0	-	流動負債	0	-
流動資産	0	-	正味資産	482,328	96%
計	482,328	96%	計	482,328	96%



(大教室の写真)



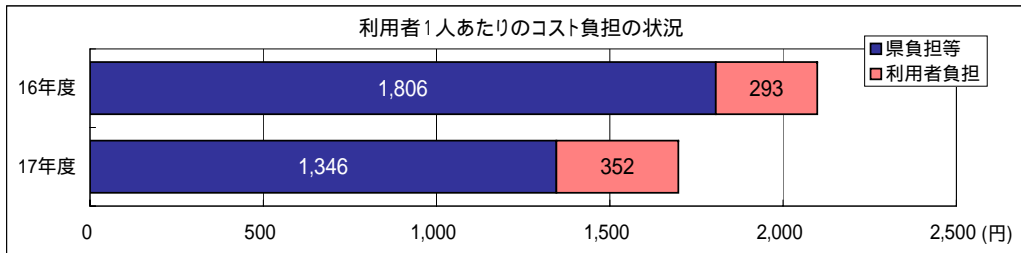
(中教室の写真)

(単位 千円)

収入				
収入	利用料等収入	17,184	20.7%	104.0%
	その他収入	0	0.0%	-
	一般財源	65,712	79.3%	68.7%

(前年比)

利用料等収入計	17,184,000 円	104.0%
利用者1人あたり平均利用料	352 円	120.1%
利用者1人あたりコスト	1,698 円	80.9%



施設の特徴	<p>昭和61年6月の開校以来、県内中小企業の経営者および従業員の経営管理または技術に関する研修の企画実施、研修施設の提供、研修に関する指導助言を行ってきており、産業人材育成の中核的拠点機関として定着しています。</p> <p>企業内研修や勉強会の場として、比較的低料金で利用でき、県内の中小企業者の人材養成に寄与しています。</p> <p>宿泊室を備えた研修施設であり、長期間にわたる企業内研修等にも利用することが可能です。</p>
今後の課題	<p>研修ニーズの高いテーマを設定し、豊富な講師情報から研修テーマに最もふさわしい講師を選定し、講座を開設します。</p> <p>施設建設から20年近くが経過しており、大規模修繕への対応が想定され、一層のコスト縮減が求められます。</p> <p>施設の老朽化に伴う利用者数の減少も予想されることから、一層のサービス向上が求められます。</p>

<p>バランスシート、行政コスト計算書の特徴</p>	<p>有形固定資産のうち、土地が373,948千円と約78%を占めています。</p> <p>コストに対する収入内訳をみると、利用者負担が20%であるのに対し、一般財源の割合が約80%となっています。</p> <p>施設建設に係るコストが低いため、行政コスト計算書に占める減価償却費の割合が、2.2%と低くなっています。一方、相対的に物件費の割合が約80%となっています。</p>
----------------------------	---

今後の事業方針	<p>平成17年4月に施設管理主体である(財)福井県中小企業産業大学校が、(財)福井県産業支援センター、(財)福井県デザインセンターと統合し、(財)ふくい産業支援センターとなりました。人材育成に加え、産業支援やデザイン振興の機能が一体となったことをフルに活用し、利用者サービスの向上、施設の利用促進およびコストの削減を目指しています。</p>
取り組み内容	<p>また、平成18年4月から指定管理者制度を導入し、指定管理者に(財)ふくい産業支援センターを指定し、一層のサービス向上および利用促進に努めています。</p> <p>快適な「学ぶ環境」の整備に努めるとともに、広報活動を強化することにより、利用者数の向上を目指します。</p> <p>受講者アンケートや研修受講企業への訪問を強化し、研修ニーズの把握に努めるとともに、的確な研修テーマを設定することにより、研修受講者数の増加を目指します。</p> <p>県内の他の産業人材育成機関との連携を図り、県内中小企業者によりよい研修テーマの設定に努めます。</p>